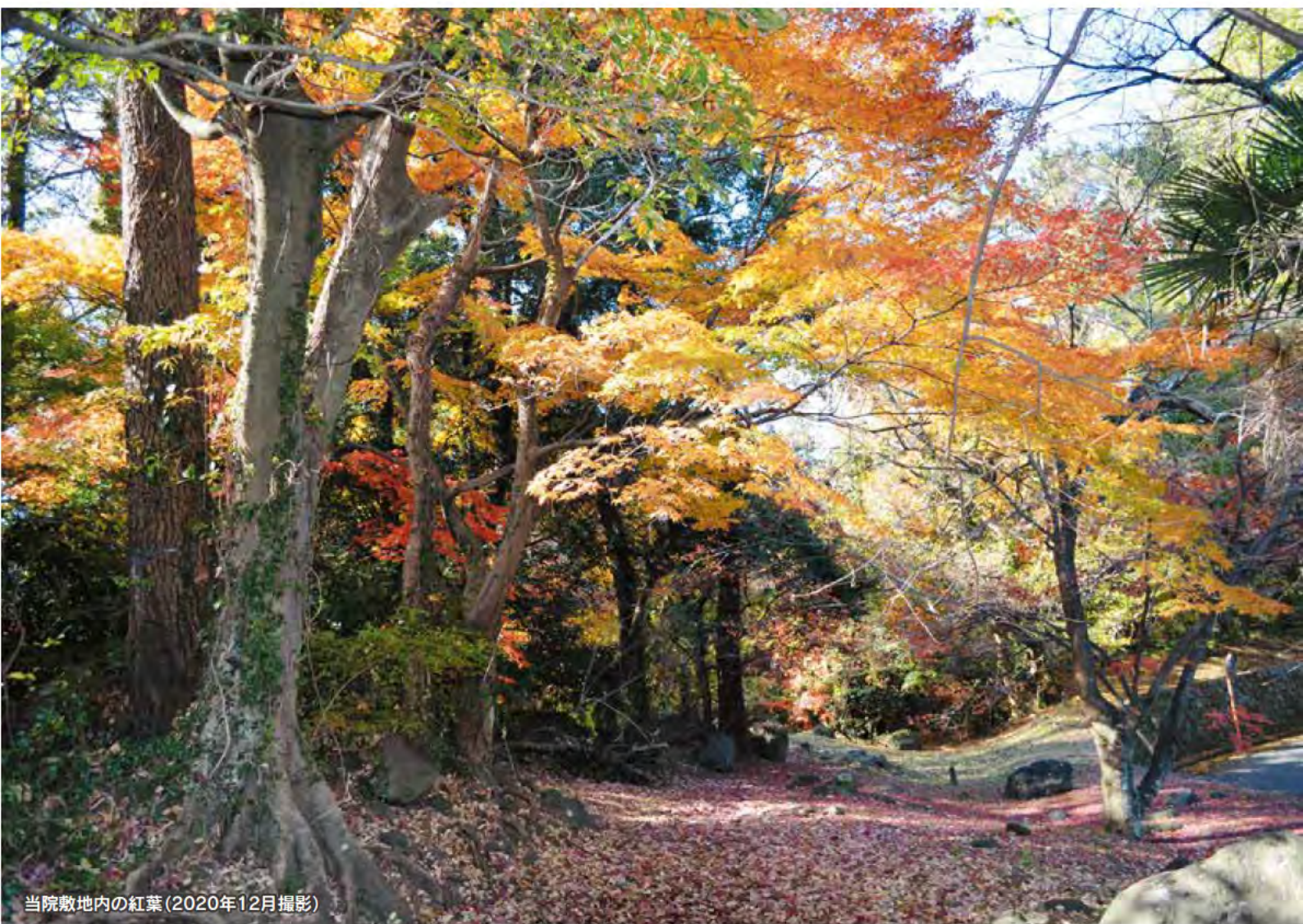


2021
Vol.25

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



当院敷地内の紅葉(2020年12月撮影)

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◆ 広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ◆ 高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ 小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ◆ 国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

新年のご挨拶	2
乳房再建術を始めました!	3
シリーズ診療科特集 第2回	4~5
循環器・老年病内科「難治性高脂血症外来を始めました」	
紹介元の医療機関のご紹介	6
新任医師の紹介	7
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



新年のご挨拶

九州大学病院別府病院長

堀内 孝彦

新年、明けましておめでとうございます。皆様には、日頃より当院に格別なご支援、ご配慮を賜り心よりお礼申し上げます。

さて昨年は中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威を振るい、WHO(世界保健機関)の発表によれば2020年12月27日現在、全世界の感染者数は7,900万人、死者は170万人をこえるに至っています。1年前には予想もしなかったこのパンデミックは、私たちの知恵と覚悟を試しているようにも思います。私どもも当院に受診されている患者さんの不利益が生じないように、最新のエビデンスに基づいた対策を講じていく所存です。

当院は1931(昭和6)年に九州帝国大学温泉治療学研究所として創立されました。当時の時代の要請にこたえる形でわが国初の大学附属の温泉医学研究機関として誕生したのです。その後はその時代時代の難病を克服するべく各診療科をあげて挑戦してきました。2021年の今年は開設90周年を迎えます。

初代の研究所長はたはら すなお大分県国東市安岐町出身の田原淳博士でした。田原博士は心臓の刺激伝導系の解明、田原結節(房室結節)の発見という医学史に燦然と輝く足跡を残しています。この発見なくしては現在ほぼすべての医療機関で活用されている心電図の原理の理解と普及はなしえなかったといっても過言ではありません。今年10月31日の創立記念日には別府市ビーコンプラザで創立90周年記念講演会を開催します。当院の過去と未来を結ぶ3つの講演を予定しています。はじめに、初代所長の田原淳博士の業績の顕彰を中心とした講演です。続いて、温泉治療学研究所創立当初から現在までの歴史を振り返ります。最後に、未来を見すえた企画として、2024年1月開院予定の新病院の特徴と強みを紹介いたします。90周年記念講演会までにCOVID-19が制圧されて、無事に講演会が開催できることを祈っております。

私ども職員一同は、さかのぼること90年前に当院の開設にあたっては別府の皆様のたくさんのご支援があったことを忘れてはおりません。今後も大学病院として質の高い医療を地域の皆様に提供して参ります。

最後に、皆様の本年のご多幸とご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

乳房再建術をはじめました！

九州大学病院別府病院 外科 増田 隆明 三森 功士

この度、福岡の九州大学病院形成外科(門田英輝診療科長)にご協力をいただき、乳房再建術を開始しましたのでご報告いたします。乳がん患者さんへの乳房再建術は保険診療となってから急速に増加しておりますが、大分県ではまだ希望される方は少なく、一般的な治療とは言えない状況です。しかし、乳房再建術を受けられた方は、“乳房だけでなく自分”も取り戻すことができる!”と喜ばれるこ



乳房再建の勉強会

とが多いので、より多くの患者さんに喜んでいただけるよう乳房再建に関する情報を提供していきたいと考えています。乳房再建術は多くの乳がん患者さんに可能ではありますが、当院では現在のところ対象患者さんを乳がん手術(乳房全摘出)と同時に人工物で再建できる方に限定しております。徐々に多くの患者さんにできるように対応していく予定です。

乳がん手術前、手術後の方で、乳房再建術を前向きに考えられている方、再建するかどうかはわからないけどとりあえず話は聞いてみたいという方もお気軽に当院担当医にお話ください。当院外来で門田先生の形成外科外来を受診していただきます。また、当院で乳がん手術を受けていない患者さんも、当院地域医療連携室(0977-27-2055)にご連絡いただきますと受診していただけます。



門田先生と乳腺チームスタッフ

増え続ける乳がん患者さんの診療の充実のために多職種からなる乳腺チームを立ち上げ、3年が経過しました。これまで薬物療法専門医(腫瘍内科医)による充実した化学療法の実践、化学療法のしびれ感などの副作用の軽減の取り組み、手術後のリハビリの充実、患者さんやご家族を対象とした講演会の開催など行ってきました。今後は患者さんが主役の“患者会”の発足を目標としています。

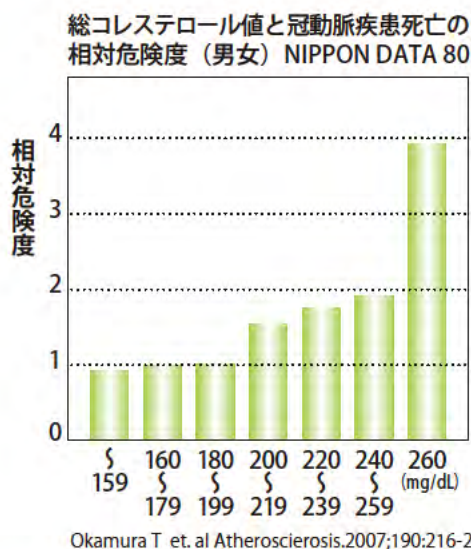
最後になりますが、乳房に症状のある患者さんがおられましたら、上記地域医療連携室にご連絡ください。ご紹介いただきました先生方と一緒に、患者さんを大切に診させていただきます。今後も地域医療への貢献とともに、乳腺診療の発展のための基礎、臨床研究も進めて参ります。

難治性高脂血症外来 を始めました

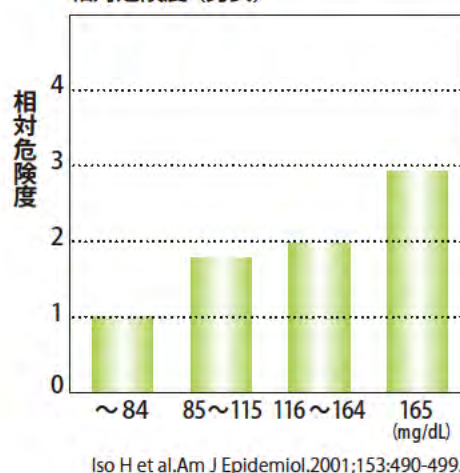
循環器・老年病内科 江島 健一

高脂血症と動脈硬化

高コレステロール血症や高中性脂肪(トリグリセライド: TG)血症が冠動脈疾患の重要な危険因子であることはこれまでの多くの疫学的研究により明かです。これは虚血性心疾患が多い欧米だけでなく日本人における疫学的研究においても高コレステロール血症や高中性脂肪血症をお持ちの患者様は冠動脈疾患の合併率が高いことがわかっています。特に、高血圧症、糖尿病、喫煙習慣や冠動脈治療歴がある患者様においては積極的に治療を行うことが将来の心血管死を予防できることがわかってきました。コレステロールの中でも特にLDLコレステロールは悪玉コレステロールと称され、動脈硬化を促進する原因となることがわかっています。現在、数種類のLDLコレステロールを低下させる治療薬がありますが、中でもスタチンは副作用も少なく数多くの試験により心血管合併症を予防できるという結果が示されています。



中性脂肪値と冠動脈疾患発症の
相対危険度 (男女)



LDLコレステロール低下治療

日本の動脈硬化学会が示すガイドライン上も冠動脈危険因子をお持ちの患者様に対しては積極的にLDLコレステロールを低下させることを推奨しています。時々、スタチンを使用して積極的にLDLコレステロールを下げることによって癌や脳出血や認知症が増えるのではないかと心配される方がおられますが、多くの臨床研究によってそれらは否定されており、むしろ最近の研究ではスタチンを内服しているほうが認知症発症を抑制したとの報告があります。また、高齢を理由にスタチン内服を中止希望される患者様もおられますが最近の研究では75歳以上の高齢者に対してもその有効性が示されているため継続内服が必要です。

スタチンを使用してもLDLコレステロール値を目標値まで低下させることが困難な患者様に対してはエゼチミブという腸管からのコレステロー

リスク区分別脂質管理目標値

動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 年版

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値 (mg/dL)			
		LDL-C	Non-HDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後、 薬物療法の適用を考慮する	低リスク	<160	<190	<150	≥40
	中リスク	<140	<170		
	高リスク	<120	<120		
二次予防 生活習慣の是正とともに 薬物治療を考慮する	冠動脈疾患 の既往	<100 (<70)※	<130 (<100)※		

LDL-C：悪玉コレステロール、TG：中性脂肪、HDL-C：善玉コレステロール、

※家族性高コレステロール血症、急性冠症候群の時に考慮する。糖尿病でも他の高リスク病態〔非心原性脳梗塞、末梢動脈疾患（PAD）、慢性腎臓病（CKD）、メタボリックシンドローム、主要危険因子の重複、喫煙〕を合併するときにはこれに準ずる。

ル吸収を抑制するお薬を使います。この薬を使用することでより効果的に治療を行うことができるようになってきました。しかしながら、上記の2種類の薬を使用してもLDLコレステロール値を目標値まで低下させることが困難な患者様がられます。このような患者様は家族性高コレステロール血症という遺伝性の病気に罹患されている可能性があり、若年で急性心筋梗塞を発症することがありますので積極的な治療が必要です。

当院での取り組み

難治性高コレステロール患者様に対して近年PCSK9阻害薬という注射薬が使用されています。当科では2021年1月より家族性高コレステロール血症を診断し、PCSK9阻害薬を外来受診時に使用できる体制を整えました。これは月に1度外来受診時に痛みをほとんど感じさせない注射器を使用します。



PCSK9阻害薬オートミニドザー

家族性高コレステロール血症の患者様は角膜輪、皮膚黄色腫やアキレス腱の肥厚を認めるのが特徴です。当科外来では高コレステロール血症の患者様には採血検査だけではなく、身体所見をきちんと観察しアキレス腱撮影を必ず行い診断確定に役立てています。また、このような患者様には若年から高度な動脈硬化を伴うことがあります。当病院では最新の動脈硬化診断装置を備えておりこれらを駆使して患者様の動脈硬化の程度を診断し、将来の心血管イベントを防ぐ取り組みを行っています。



家族性高コレステロール血症患者

正常患者

アキレス腱撮影

難治性高脂血症外来の対象患者

高コレステロール血症

血清総コレステロール≥260mg/dl

血清LDLコレステロール≥180mg/dl

高中性脂肪血症

血清中性脂肪

空腹時≥500mg/dl or 食後≥1000mg/dl



馬場医院



馬場欽也院長

医療法人三和会馬場医院は1967(昭和42)年の開院以来一貫して地域のプライマリーケアを支えて温もりのある居心地のいい有床診療所を作ってきました。少しずつ拡大と改修を繰り返す形で2020年度は外来棟のリフォーム工事が完了し、車いすでの来院も便利になりました。別府湾が一望できる環境に是非一度足をお運び下さい。

私は当「九大別府病院・外科」(当時は九大生医研・外科)の出身でもあり、専門である消化器疾患・肝胆膵疾患・乳腺疾患を中心に当科の御指導を仰ぎながら連携して診療を行っております。また同時に関節リウマチ・膠原病や循環器系などの内科疾患や椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患などについても医師会の「ゆけむり医療ネット」を経由した診療の依頼や併診をさせて頂くことで大変お世話になっています。また一方で逆に九大別府病院連携室から御紹介を頂き多くの患者さんを診察させて頂いております。このような中で当院が特に力を割いているのが在宅診療です。九大別府病院時代から多くのがん患者さんに一貫して携わった経験から、在宅生活を希望される患者さんにはできる限り住み慣れた場所で治療がで

きるよう緩和ケアの技術も駆使して診療に努めております。コロナ禍の昨今はたとえ終末期でも病院での自由な面会は困難となってきており、在宅医療の重要性が益々見直されつつあるようです。このような時代だからこそ心の結びつきを大切に丁寧な診療を行っていきたいと考えています。

九大別府病院は2023年度の新病院開院に向け、堀内病院長の指揮のもと大きな飛躍をされることと思います。同院の益々の御発展を祈念いたします。医療法人三和会馬場医院も地域医療を支えていくとともに同門の一人として九大別府病院の発展に微力ながら貢献する所存です。これからもどうか御指導、御鞭撻のほどよろしく願いいたします。



待合室

◆DATA

住 所：大分県別府市大字南立石1775番地の14

電 話：0977-23-2833

診療科目：内科、外科

◆アクセスMAP



内 科



江島 健一（えしま けんいち）

2020年10月から九州大学病院別府病院内科に赴任いたしました江島健一と申します。専門は循環器内科です。1993(平成5)年に九州大学医学部を卒業後、麻生セメント飯塚病院、九州大学病院、松山赤十字病院、聖マリア病院、佐賀県医療センター好生館に勤務してきました。循環器内科領域は低侵襲に治療を行うことができる時代となっており、高齢者の方であっても治療が検討できるようになりました。今までの経験を生かし、患者様と向きあい、それぞれに合った医療が提供できるように努力したいと思っています。

胸が苦しい、脈がおかしいといった症状や、心臓の薬の相談など、その他疑問に思ったことがありましたら何でもお気軽にお尋ねください。

外 科



小齊 啓祐（こさい けいすけ）

2020年8月から九州大学病院別府病院外科に医員として赴任いたしました小齊啓祐と申します。2012(平成24)年に熊本大学を卒業し、2018(平成30)年に九州大学消化器・総合外科に入局いたしました。専門は呼吸器外科です。

2019年4月より大学院生として別府病院で研究活動を行っています。8月より臨床的な仕事もさせて頂いておりますが、少しでも別府病院に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いします。



中野 貴文（なかの たかふみ）

2020年11月より九州大学病院別府病院外科に医員として赴任しました中野貴文と申します。東京都出身です。2013(平成25)年に東京慈恵会医科大学を卒業後、同外科学講座に入局しました。

2019年7月より大学院生として別府病院で研究活動を行ってきました。

大腸癌に関する研究をしています。臨床に関しましても、できる限り貢献していきますのでよろしくお願いいたします。

九州大学病院別府病院 外来診療案内

2021年1月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病 (新患予約制)	堀内孝彦 木本泰孝 日浦惇貴	堀内孝彦(再来) 日浦惇貴(再来)	木本泰孝 右田利央子	病棟回診日	堀内孝彦(再来) 木本泰孝 右田利央子
	血液病		亀崎健次郎	亀崎健次郎		亀崎健次郎
	がん・腫瘍	奥村祐太	奥村祐太(再来)			奥村祐太
	慢性疼痛	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	骨粗鬆症	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来 難治性高脂血症外来 (新患予約制)	得能智武 江島健一	得能智武 江島健一 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	江島健一	病棟回診日 午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	得能智武
外科	一般 消化管門 肛	三森功士 大津甫 米村祐輔	三森功士 手術日	三森功士 大津甫 武石一樹	三森功士 手術日	三森功士 米村祐輔 武石一樹
	肝・胆・膵	米村祐輔	手術日	武石一樹	手術日	米村祐輔 武石一樹
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科 (脊椎脊髄)	脊椎外科 (完全予約制)	手術日	熊丸浩仁 齋藤武恭 吉崎真吾 大崎佑一郎	手術日	播谷勝三 齋藤武恭 吉崎真吾 大崎佑一郎	播谷勝三 熊丸浩仁 大崎佑一郎
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	米村／大津	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	米村／大津
	下部消化器内視鏡	米村／坂本	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	米村／坂本
	EMR / ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERC P	———	———	———	———	———
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

初診
受付時間

8:30~11:00

再来
受付時間

8:30~12:00

(予約の方は除く)

地域医療連携室へ
お電話ください

● 整形外科 … 完全予約制

● 内科：リウマチ・膠原病および循環器 … 新患予約制

● 放射線治療 … 初診8:30~11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話0977-27-1600 地域医療連携室：フリーダイヤル 0120-272-518 直通：0977-27-2055

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月～金 8:30~17:00 ☎ 0120-272-518(専用)

TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.25



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>